

はじめに



2025年11月、東京で「デフリンピック」が開催されます。みなさんは「デフリンピック」をご存じですか？オリンピックやパラリンピックは知っていても、デフリンピックは知らなかったという人もいるかもしれません。

きこえない人だけが参加できる大会であるデフリンピックは、手話の普及や、デフスポーツ（きこえない人のスポーツ）の魅力を伝えること、国籍や障がいのあるなしに関係なくあらゆる人がつながることなどをめざした国際大会です。

一人ひとりが個性や能力を活かし、すべての人たちが互いに認め合い、しあわせに生きる社会をつくるために、私たちは何ができるでしょう。デフリンピックについて知ることを通して考えてみましょう。

① デフリンピックについて知ろう

デフリンピックとは

きこえない・きこえにくい選手（デフアスリート）のための国際的なスポーツ大会です。デフリンピックとは、デフ + オリンピック のことで、デフ (Deaf) とは、英語で「きこえない」という意味です。競技中は補聴器などを外して、全員が公平にきこえない立場（55 デシベル未満の音がきこえない状態。普通の会話がきこえない程度）で行います。

※55デシベルは普通の話し声程度の音の大きさ



オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとにそれぞれ開催されます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、きこえない選手のために見て判断するさまざまな工夫がされています（視覚的情報保障）。

※情報保障とは年齢や障がいの有無などに関係なく、誰でも必要な情報に簡単にたどり着けるようにすることをいいます。

「国際手話」が使われることも特徴です。手話の表現は国によって異なります。日本には日本の手話があり、日本の手話の中でも地方によって表現の仕方が異なる「方言」があります。どの国・地域の人であってもコミュニケーションをとれるようにした手話が国際手話です。

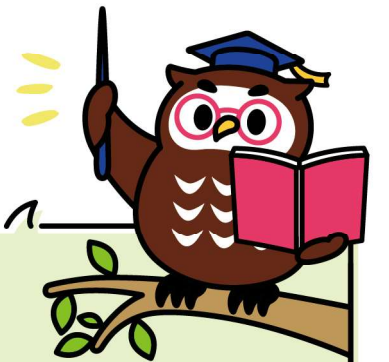
このマークは国際ろう者スポーツ委員会の公式ロゴマークなんだよ。中央の○はきこえない・きこえにくい人が目で見えることを中心として生活していることから「目」を表しているよ。



もっとデフリンピックについて知りたいな。

デフリンピックの歴史

第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。2025年11月に開催される東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。



第25回 夏季デフリンピック競技大会 東京2025 (東京2025デフリンピック)

大会期間 2025年11月15日～26日(12日間)

参加国 70～80か国・地域

選手数 約3,000人



デフリンピックの工夫（視覚的情報保障）



- 陸上
- ビーチバレーボール
- 自転車(MTB)
- ハンドボール
- オリエンテーリング
- 卓球
- テニス
- レスリング(フリースタイル)
- バドミントン
- ボウリング
- サッカー
- 柔道
- 射撃
- テコンドー
- バレーボール
- レスリング(グレコローマン)



- バスケットボール
- 自転車(ロード)
- ゴルフ
- 空手
- 水泳

全部で
21競技あります。



※ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

② デファスリートの思い

東京2025デフリンピックへの出場をめざしている、太宰府市出身、また太宰府市の大学に在学中の選手(デファスリート)をご紹介します。競技を始めたきっかけやデフリンピックについて、皆さんに伝えたいことなどお話をうかがいました。



や か べ 矢ヶ部 紋可さん

かぶしがいいや (株式会社ゼンリンデータコム)
第24回夏季デフリンピック バドミントン混合団体戦銀メダル、女子ダブルスベスト4

バドミントンを始めたきっかけ

小学校1年生のときに、きこえない人のバドミントンクラブができて、参加したことがきっかけです。ろう(生まれた時から、または幼児期からきこえない人。主に手話を使用する人が多い)の先輩でデフリンピックに出場する方がいて、いつか自分もデフリンピックに出場したいと意識するようになりました。



海外へ行って感じた日本とのちがい

前回の夏季デフリンピック(ブラジルで開催)に出場した時、ブラジルの方たちは、障がいがあることをプラスにとらえているように見えました。堂々としていて障がいがあるように見えません。日本では、自分たちは障がいがあるからと、すこし遠慮がちになる場面が多い気がします。

お互いを知らうとする気持ちを大切に

いま、手話を使う人が増えてきていると感じています。先日デフバドミントンの大会があった時に、審判の方はきこえる方でしたが、手話を使ってくれました。また、飲食店

に行った時も、お店の方が手話で「ありがとう」と言ってくれました。相手が歩み寄ってくれるということがうれしいです。これからデフリンピックに向けてもっと手話が広まって、障がいのありなしにかかわらずお互いが積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちを持てるようになるといいなと思います。

読んでいる方へ

関東に引っ越して、新しく知り合った方たちと話すときに、出身はどこ?と聞かれて「太宰府です」と答えると、「知ってる!」「いいところだね!」とたくさん言われます。太宰府市出身であることを誇りに思って、これからも練習に励んで、みなさんに良い結果を報告できるようにしたいと思っています。

られていることを伝えています。

読んでいる方へ

みんながすごしやすい社会にしたいためには、お互いが思いや考えを伝えあうことが大事だと思います。お互いが協力し合える社会をつくれるように、私も今できることを精一杯がんばりたいです。



く じゅう る あや か 久住呂 文華さん

にほんけいざいだいがく (日本経済大学)
第24回夏季デフリンピック 女子サッカー4位・第4回デフサッカー世界選手権大会5位(8人)

サッカーを始めたきっかけ

兄がサッカーをやっていたので、3歳のときに同じクラブの幼児クラスに入ったことがきっかけです。小学校4年生から日本代表に呼ばれるようになって、5年生の時に父が女子デフサッカー日本代表の監督になり、監督と選手という関係になったこともあって、自然とデフリンピックを意識するようになりました。



デフサッカーについて

デフサッカーのルールはきこえる人のサッカーとほぼ同じですが、主審が笛と旗で合図を出します。試合中、アイコンタクトはとても大事です。アイコンタクトをとりながらボールを持っている人の判断に合わせます。

デフリンピック東京大会では金メダルをとりたいです!

海外へ行って感じた日本とのちがい

海外では、社会として手話通訳をつけるのが当たり前になっていることが多いです。日本では、情報保障として手話通訳を自分たちで準備しなければいけないことが多いです。

インタビューに同席いただいた手話通訳者の山本美代子さんにも、デフリンピックへの思いをうかがいました。

やまもと みよこ 山本 美代子さん

だざいふ し けんこうふくし ぶ ふくし か 太宰府市 健康福祉部 福祉課 専任手話通訳者

デフリンピックとのかかわり

デフリンピックのボランティア募集があれば、ぜひ参加したいと思っています。現在、デフバドミントンのナショナルチームの合宿が福岡で開催される時に、手話通訳として参加しています。

今回のデフリンピックは日本で開催されますし、100年目という記念の大会でもあるので、何らかの形で関わりたいです。

手話通訳者としての思い

手話通訳者として市役所にいることで、きこえない・きこえにくいことで生活に支障が出ている人たちに対して、何らかのつなぐ役割ができればいいなと思っています。

太宰府市役所の福祉課にいるので、手話のことなど、ききたいことがあるときは気軽にお声かけください。



や か べ まい 矢ヶ部 真衣さん

ちくし じやがくえんだいがく (筑紫女学園大学)
第24回夏季デフリンピック バドミントン混合団体戦銀メダル、女子ダブルス・シングルスベスト4

バドミントンを始めたきっかけ

姉(矢ヶ部 紋可さん)がバドミントンのクラブに参加していたことがきっかけで、5歳から始めました。

デフリンピックへの思い

ブラジル大会へ行って感じたのは、デフリンピックの注目度がとても高かったことです。ブラジルではデフリンピックの観客席は満席で、小さい子からご年配の方まで幅広い年齢層の方々が応援してくれました。日本でもデフリンピックが注目されるといいなと思います。

ブラジル大会では新型コロナウイルス感染症の影響で、日本選手団が全競技で会期中に辞退するという形になりました。最後まで戦いきれな

かったという悔しさがあるので、2025年のデフリンピック東京大会では個人でも団体でも金メダルをとりたいたいという目標があります。

たくさんの人に支えられている

大学卒業後は小学校の先生になりたいです。きこえない子どもを持つ家族にかかわる教育相談などもできたらいいなと思っています。

今は福岡高等聴覚特別支援学校でバドミントン部の指導をしています。バドミントンの指導ですが、マナーや団体意識を育てるという面での指導が多いです。自分自身、高校を卒業してから、たくさんの方々に助けられていたことに気づけたので、高校生にもたくさんの方に支え



デファスリートのみなさんの
の思いを知って、もっとデフ
リンピックが楽しみになって
きたね!
みんなで応援しよう!

インタビュー掲載部分は一部です。
インタビューの全文は
こちらから読めます。



③ わたしたちにできること

手話で応援してみよう!

手話について知っているかな?
手話は目で見ることは(言語)なんだよ。
手や指、表情などを使って、見て分かるように表現するんだ。

手話を覚えて応援
したいな。

デフリンピックの応援を
するときの手話を紹介す
るよ!

がんばれ

両手で拳を作り
2回下におろす



はくしゅ

両手を
上にあげ、
手を
ひらひらと
させる



耳がきこえない・きこえにくい人に関するマークをご存じですか?



耳マーク

耳がきこえない・きこえにくいということをあらわすマークです。



聴覚障害者標識

耳がきこえない・きこえにくい人が運転していることをあらわすマークです。



手話マーク

「手話言語で対応できます」
または「手話言語で対応お
願いします」ということを
あらわすマークです。

手話でつながろう

デフリンピックの応援の
ほかにわたしたちにでき
ることはないかな?

手話はことば(言語)であると認めること。そして、
きこえない人が手話を使って安心して生活できる
社会を実現することをめざして、全国で手話言語条例
が制定されてきているよ。

福岡県では2023年4月1日に
福岡県手話言語条例が施行
されているんだよ。

福岡県
手話言語条例
全文はこちら



みんなが手話で話せるようになると、
きこえない人ともっとなかよくなれるね!

そうだね!
お互いの違いを理解して支え合うことで、
人と人がつながる社会になっていくね!

おわりに

デフリンピックでは、「スポーツによる平等」や「心・情報・街のバリアフリー」を重要な
テーマとしています。障がいがある人となない人とのコミュニケーションや、誰もが必要な
情報にたどりつける環境づくりを進めることで、誰ひとり取り残さない社会の実現をめざし
ています。

障がいのある人、外国人の人、いろいろな年齢や性別の人など、私たちには一人ひとり、
違いや個性があります。互いに相手を知ろうとする気持ちを持ち、さまざまな社会のしくみ
を考えていくことで、互いを認め合い、しあわせに生きることでできる社会をつくっていき
ましょう。

※QRコードでリンクしている資料は、太宰府市役所 社会教育課にて印刷したものをお渡しできます。